

明日もつしなむにうんじつをさかす。

昨年もお大変お世話になり、ありがとうございます。みなさまのおかげで創館10周年を迎えることができ、その記念すべき年に『絵本はホスピタリティの宝箱』の出版が叶い、「記念日文化功労賞」も授与いただくという、本当に嬉しい年となりました。心より感謝申し上げます。

さて、今年も卯(うさぎ)年です。うさぎは穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」を意味し、ぴよんぴよん元気に跳ねる姿から「飛躍」や「向上」を意味するようです。今年も子どもたちを真ん中にして皆で見守る温かいピブリオとして務めてまいります。皆様にとって、縁起のよい、飛躍の一年になりますように！

今年もどうぞ、よろしくお願ひ致します。



『あわてんぼうウサギ』

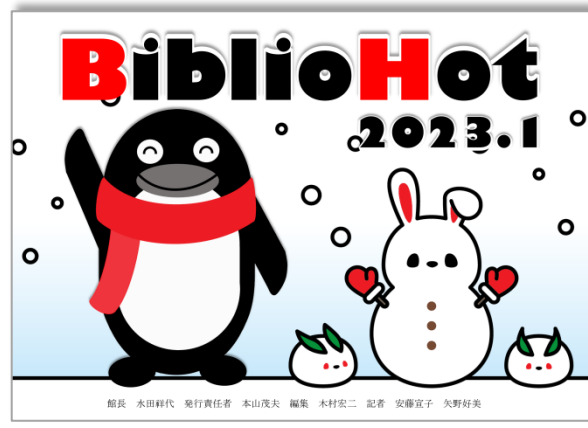
中川 素子 再話
バーサンスレン・
ポロルマー 絵
小学館より

そんな今日は、大きな音を聞いて「世界がこわれる」と慌てて走り出した兎を森の動物達が追いかけて大騒ぎになる様子を見ていた王様ライオンが、ちゃんとものごとを確かめてみる「ジャータカものがたり」お釈迦様がライオンだった時のおはなしを読みあっています。

ペンギンの知識 ペンギンの仲間達 95

☆ペンギンクイズ

「クマミマヌ・ピケアエ」という学名のついたペンギンは、何ペングインより大きいでしょうか？



館長 水田祥代 発行責任者 本山茂夫 編集 木村宏二 記者 安藤夏子 矢野好美

答え エンペラーペンギン

最初にペンギンの化石が発見されたのは1859年、2500万年から3000万年前のものと見られ現在最大級のペンギンよりも大きかったといわれています。

『それでもがんばる！
どんまいなペンギン』

渡辺佑基 監修 宝島社より



おすすめの絵本

今月のラボは、「お正月」、「うさぎ」、「昔話のうさぎたち」、「ピーターラビットとうさぎちゃん」などのテーマで「お正月絵本展」を開催いたします。

むかしむかし、あるところに双子のうさぎが住んでいました。ふたりには仲良しのニフトリが居て、いつもたよりになる友達です。さて、今日は出かける約束の日です。ドキドキワクワク何を着ていこうかしら……。文字のない絵だけで描かれたうさぎたちの絵本です。うさぎ年の今年、まずは絵をしっかりと見ながら何をしているのか想像して、ぴったりの名前をつけたり、どんなおはなしにして読みますか。あなたの心のことばで。



『ふたごのうさぎ』

ダフネ・ロウター著
NHK 出版より

司書 矢野 好美

「お正月絵本展」開催！

1/4~1/31